



サンタのおじさんありがとう。また来てネノ子どもたちは大喜びでした

今年もサンタがきたぞ

一足早いクリスマス

プレゼントに子どもたち大喜び

十三保育所（川口定雄所長）に十九日、サンタが訪れ子どもたちにとっさりプレゼントをしました。

ひと足早いクリスマスプレゼントをしたのは、十三地区で鮮魚商を営む小山内政太郎さん。

小山内さんは、自費を投じてプレゼントを準備し、これまで四年間も十三保育所を訪れています。この日も、赤いサンタの服に白ヒゲをつけて現れ、子どもたち一人一人に「わた菓子をやお土産を手渡し喜ばれました。

昭和54年 12月号

村議会議員選挙

投票日は一月十三日です

市浦村議会議員の選挙は一月六日告示、十三日投票日と決まりました。
この選挙は、わたくし自身にとりていばん身近かなものだけに、情実に流されることなく、村の将来を託せる立派な人材を選んで議会に送りたいのです。

立候補の届出

立候補の届出は、告示日の六日から翌日の七日までの二日間、午前八時三十分から午後五時までの間に受け付けられます。

また、立候補の辞退届の受け付けも同じ期間に受け付けられることとなります。

選挙期間

村議会議員選挙は、国会議員や県議会議員等の選挙にくらべて運動期間が短いのが特徴です。

一月六日から投票日前日の十二日までの七日間よりありませんので、短期間に急速な運動が過熱することも予想さ

不在者投票

れるので、有権者は冷靜な態度で公正な選挙に臨むようつとめたいものです。

用務で村外に旅行中・出張中など法律で定められている理由で、投票日に投票所に行けない人は不在者投票ができます。入場整理券と印鑑をもって市浦村選挙管理委員会へ投票してください。

また、病院や老人ホームなど指定した施設に入っている人は、それぞれの施設で投票できます。不在者投票のできる期間は一月六日から一月十二日の毎日午前八時三十分から午後五時までです。

投票所と投票時間

第一投票所	相内小学校(講堂)
第二投票所	太田小学校(教室)
第三投票所	脇元小学校(教室)
第四投票所	十前小学校(教室)
投票時間	午前7時から午後6時まで

この一票あなたが築くよい村政



除雪作業にご協力ください



作業中は危険ですから近寄らないで下さい。

路上駐車はやめよう

いまのところ降雪量は少なく、しじやすい冬を過せるような気がしますが、いつ大雪になるか予想がつかません。

そこで、村でも除雪対策を立てていますが、除雪はなんといつて市民の協力によって除雪機をフルに発揮した作業ができます。

つぎのことについてご協力をお願いします。

除雪車には「近よらない」

■除雪作業は、交通量の少ない早朝に行われますので路上駐車は絶対しないようにして下さい。

■除雪車は重機械のため前方で十メートル以内に入る

右側走行 除雪も

■除雪車は右側走行しながら除雪する場合がありますから、黄色回転灯点灯した除雪車を見たら車は除行してください。

除雪作業で、物がこねたり、ケガ人がたときは直ちに役場建設課へ連絡願います。とくに物がこねた場合、早急に報告されないと原因究明が困難になり保険の対象外になります。

故障車には目印を

■雪の中に車を乗り捨てますと地吹雪、降雪などで埋もり、除雪車が発見できず処理する危険があります。目印には、赤旗をできるだけ高く立ててください。

■私有物件が路上にはみ出している除雪車がこれを巻き込み重大な事故につながります。また、路上でのスノー、スクート遊びは危険ですからやらせないでください。

■除雪後の道路には雪をかきあげないでください。



成人式には簡素な服装で気軽に出席したいもの…。

六十人が めでたく成人に

式典は基幹集落センターで

成人式は一月十五日午前十一時から、相内の基幹集落センターで行います。
該当者は、昭和三十四年一月十六日から昭和三十五年三月三十一日まで、に生れたかたです。

服装は簡素に

市浦村教育委員会では、めでたく成人になられた方に対し、個人ごとに案内を出していますが、全員参加するようのぞんでいます。
服装は簡素に……。のかけ

声もよそに年ごとに派手になるばかりです。服装はできるだけ簡素にして、みんなが楽しく参加できるようにしてください。
成人式へ出るため多額の出費をしないようにしたいものです。

成人者名簿

(カッコ内世帯主)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|----------|-----------|-------------|-------------|----------|-------------|-----------|-----------|-------------|------------|------------|------------|--------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|------------|-------------|----------|-----------|-----------|
| ■相内・桂川・太田 | 米谷 美智雄(世帯主) | 藤田 朝子(敬) | 山田 光子(進) | 三浦 洋子(善策) | 三浦 美栄子(金松) | 三浦 文子(金松) | 小野 義秀(本人) | 小山 昭一(本人) | 小寺 えり子(由太郎) | 米谷 馨(由一) | 柏谷 清彦(貞美) | 横山 祐透(貞好) | 下山 祐逸(福好) | 三上 優(勲) | 秋田谷 つや子(二三) | 奈良由美子(光男) | 奈良 泰子(幸雄) | 長利 れい子(清一) | 山本 昌子(本人) | 植野 照子(タキ) | 植野 明男(喜代美) | 秋田谷 千加子(多喜郎) | | | | | | | | | | | | | |
| ■十三 | 木村 一臣(スワ) | 成田 汐子(信一) | 秋元 行美(行雄) | 高橋 哲弘(銀二) | 工藤 扶子(兼次郎) | 木村 英美(本人) | 堀川 周一(重郎) | 中島 透(フチエ) | 浜田 浩子(武二) | 浜田 武彦(治) | 豊島 竹正(正年) | 小山内 弘子(登三郎) | 相川 由紀子(利三郎) | 葛西 敦(本人) | 小山内 朝子(政太郎) | ■脇元・磯松 | 高木 洗二(清造) | 村上 万里子(作之進) | 村上 英俊(浅太郎) | 葛西 美重(安十郎) | 三上 勝司(敬司) | 葛西 孝明(利治) | 山田 隆一(勝由) | 小寺 誠一(繁則) | 沢田 ひとみ(三子助) | 中山 昭子(正美) | 新岡 真一(本人) | 佐南 千春(安一) | 伊南 徹(忠雄) | 藤田 範道(緑) | 田中 百合子(兼雄) | 和嶋 由紀子(喜代志) | 今 恵子(辰雄) | 山田 明美(清作) | 田中 義仁(義雄) |

納貯貯蓄組合で研修会

組合の育成強化を図る



納貯組合事務の体験発表もしました

体験発表で問題提起

市浦村単位納貯貯蓄組合会計事務担当者の研修会が、十一月十一日基幹集落センターに、各組合の会計事務担当者と村関係者二十三名が出席して行われました。
この研修会は、これが一回目ですが、組合事務に関する問題点を改善し、より円滑な運営方法について検討するためのもので、今回は直接組合事務担当者で体験発表を、問題点を提起。それを全体で討議して解決策を講ずることにしたものです。

村内には、三十八の納貯貯蓄組合がありますが、研修会では、古川長光さん(相内派立納貯 権引一次さん 脇元第二納貯 湯浅政蔵さん(十三山子納貯)の三名が体験発表をしました。

特に論議されたのは、組合員の加入、脱退に伴う持参金の配分、年度途中で国民健康保険に加入した場合に税額が大きく、納期内納付が困難である、などが問題として出され、組合の育成強化を図る意味からも、早急に解決策を検討していくことにしました。

⑤ 広瀬しゅうら

十三湖大橋が完成



49年着工以来5年の歳月を費やして造られた水久橋は、本体の長さが234m、両側に幅2.5mの歩道つまり車道部分は6.5mの2車線です。総工費1106,370万円でした。



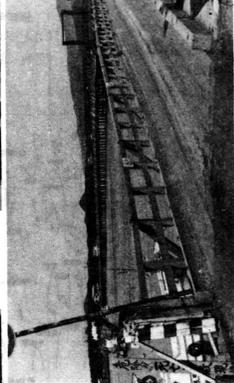
十三湖大橋盛大に切り始め
十三日十三日、十三湖大橋開通し、約1000人の村民と近隣町村からも観衆がわけて、村内は色なりました。



元氣は消す初めをする
野村三氏夫婦
三坂善次郎さん一筆



山田秀一さん一筆



本橋に希望
十三湖大橋開通してより、田十三湖は10年間の仕舞を完全閉鎖は止。来春からは解禁される運命を祈ります。陣中はお返しを、十三湖の「お別れ会」をしたいと思います。

写真で見る この一年

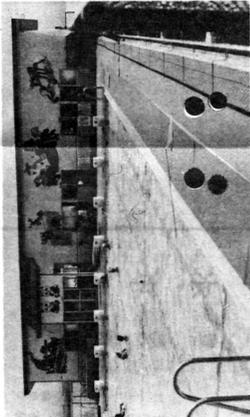
1979年さ ようなら

村民健康会議

6月5日、保健センターに村民120人が出席して開かれた村民健康会議で、環境美化の村を宣言。合わせて環境美化憲章も賛同一致で採択されました。

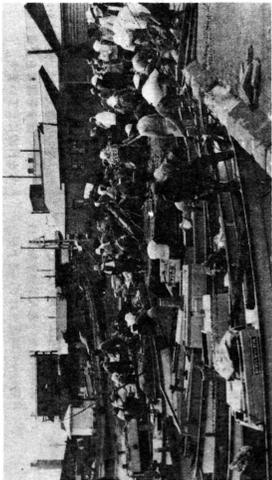


十三湖堤防の工事
土小のフェルは、堤防止のためステンレスを打っており、県内で初めてのもので。



十三湖のクリーン作戦

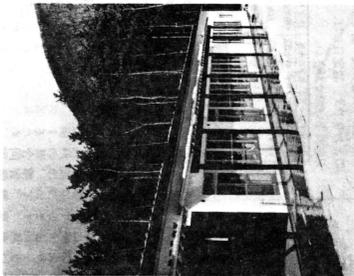
若木川水系の漁場環境の改善と内水面魚類環境保全対策策定の資料を得るため、8月9日、10日の2日間、クリーン作戦を展開しました。



④ 広瀬しゅうら

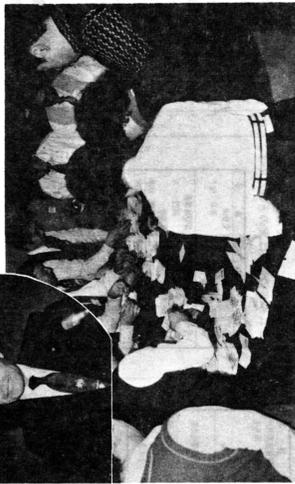
地元保育所が完成

協元、磯松地区に保育所が完成し、4月から施設保育所としてスタートしました。



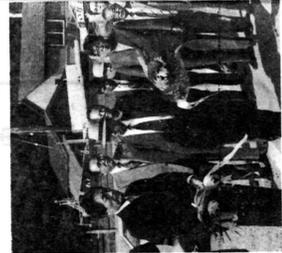
村長選挙

白月十三日行われた村長選挙で、白月町長三浦三郎氏が再選されました。



3歳のひみつ

テレビでおなじみの「3歳のひみつ」お母さんのみなさん、教室が開かれ、賑やかな子どもの成長を願い、若いお母さんたちが熱心に勉強しました。



津軽の先住民族



▶22◀

安東水軍

豊島勝蔵

白鶴白鷺の旗雄々

安東水軍の寄港地は日本いたるところにありました。四浦六泊に駐泊する安東船



安東船の寄港地は羽州土崎、館州輪島、若州小浜、長門赤間を西岸廻船とし、繁葉博多、肥後有明、肥前平戸廻船を号して水道廻船と称す。(村史資料編中巻より)

は、十三浦安東船の命令で、それら国内の交易港に寄港し、商利を得て帰航するのです。国内ばかりでなく遠く諸外国へも派遣され、古代から中世までの海上権を独占したものと想われます。順風を待つて船出しをし、途中暴風にあえば各地の寄港地に急ぎ、まるで日本海をわがもの顔に航行する安東船でした。通商船の旗印は白い鶴を象どったものでした。また水軍旗には白の鷺、戦闘旗には黒の鷺印を使用したといわれています。通商船を護衛しながら、旗を潮風にためかき、そうと航行する勇姿を眼のあたりにした津軽の領民の心はいかばかりであったことか。

津潮六廻船

「安東船津潮六廻船」寿永二年頃（一一八三年頃）

という記録によると、安東船の航路が記されています。

- (1) 西岸廻船 羽州秋田島、土崎能州(石川縣輪島)、若州福井県小浜、長門赤間山口県下関付近七艘。
- (2) 不知火廻船(又は筑紫廻船) 筑紫福岡県博多、肥後熊本県有明、肥前(長崎県)平戸、八幡。
- (3) 水道廻船 瀬戸内海、北海道(紀伊)和歌山県、三重県、淡路)兵庫県、阿波、徳島県、讃岐)香川県、伊予)愛媛県、土佐)高知県、兵庫、堺、十二艘
- (4) 渡島廻船 松前渡島往來三艘。
- (5) 唐土廻船 唐土南北、南唐土毛入国、十六艘。
- (6) 韓土廻船 韓土、七艘。

一路能登の七尾に錨をおりして八夫の骨を休め、さらに船出をして若狭の小浜に至って、京師へ米を半分おろして門津に至る航路が(1)の西岸廻船です。(2)は九州廻船、豊後水道を東北に能美島、東は安芸瀬を北に大三島大島の間をぬけて(因島)に至り、一路九尾に寄り、さらに小豆島、西を明石に寄り堺にいたって荷をおろす航路は(3)の瀬戸内海で、四国の南を通るのが(3)の南海道航路です。通商品のおもなものあまじ、たら、ほたて貝、とど、熊の皮、白狐の皮、こんぶ、かに、海狸の皮、いか、鱈、くじら、金磁など主として北海道産の物品を通商船に積したといわれています。(2)は、当時の蝦夷島といわれた北海道全土が安倍安東氏の支配下にあったことを物語っています。安東水軍の地図によると、北海道における要港の名称には、十三という数字がついています。諸外国には、塩漬けにした干物にたりして売っています。

村の史跡(米宅)

熊野宮(磯松)

安倍氏は紀州那智の熊野権現の信仰が厚く、建保二年(一一二四)安倍貞季が本社の許しを得て、その分霊を祀ったといわれています。

十三新城記に「熊野社の鼓音は胡にすの響を拂い、感応の月を胡にする」とあり、拝殿には鱗滝場が築えたとこの船の絵馬が十数点保存されているが、左方に慣館の史跡があり、歴史的に由緒ある神社であることが証明されている。

洗磯崎神社(脇元)

安東氏が荒社を祀り崇拝したといわれる古い神社である。

文永十一年(一一七四)天台僧正坊より、薬師堂が建設されたといわれ、以来薬師如来信仰が盛んになり、旧四月八日に薬師発が行われ、白旗立てた参詣でにきわい、明治の中ごろまで続いたといわれる。社は小高い丘にあり、境内からは日本海を距てて岩木山が眺望できる絶景の地である。

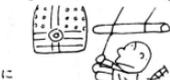


除夜の鐘

十二月は、陰曆で「師走」とよばれていましたが、また別の名を「除月(じよげつ)」ともいいました。

十二月が「除月」で、三十一日つまり大晦日が「除日(じよじつ)」その夜が「除夜」というわけで、百八つの鐘で知られる「除夜の鐘」の名称も、ここから由来します。

ところで、百八つの鐘をつき鳴らすのに一時間から一時間半かかるそうですが、いくつ目からいど年が明けるとか、ご存じですか。



昔は「百七つを年内につき、残りの一つを新年につきならわしたたそですが、今では午前零時つまり新年の合図に最初の一つ、年が明けてから残り百七つをつくお寺が多いようです。

どうして、このように変わったのでしょうか。あるお寺では、その辺の事情について、こんな話をしていました。

「グリーンと尻を引くような余韻が残ってから次をつきまし、信者の方が入り代わり立ち代わり鐘をつかれるので時間は正確に測れません。百八つをじつたり午前零時に合わせるのは、たいへんむずかしい。昔は多少時間がずれても、さほど差しつかえないかっただし、今ではラジオやテレビの時報もありますし、新年を告げる鐘の音が正確では、みなさんに申し訳ないですからね」

除夜の鐘も時代の流れには勝てず、といったところ。そういえば、この夜に食べる「年越しそば」のそば粉はもちろん、タレに使う、いわゆるゆめ材料である大豆も、いまではほとんど輸入品とか。

除夜の鐘、年越しそばといった年の瀬の風物詩も世にわたって変わってきています。何はともあれ、一九八〇年代がよい年でありますように祈りたいものです。

貯蓄と貯金

税のはなし

私たちは、住宅の購入や病気などの思いけない出費に備え、預金や公債を買って貯蓄します。

これらの預金や公債の利子は利子所得として所得税がかかりますが、一定の手続きをとることで、税金がかからない制度があります。

このほか、郵便貯金の利子には原則として税金はかかりません。また、住宅を購入するための貯蓄で、一定の要件に当てはまるとは、最高三万円を所得税から差引く「住宅貯蓄控除」の制度があります。

そこで、非課税となる貯蓄の種類と金額について説明すると、①少額貯蓄の利子、預金や公債債、貸付信託などの利子や収益の分配金は、一

善意ありがとうございます

現在、歳末たすけあい運動が進められています。村社会福祉協議会にも次々と善意が寄せられています。

福引洋逸さんは、去る十一月二十三日死去した父寛藏さんの善典返しとして十万円を寄金。秋田谷源蔵君(相小五郎)も新聞配達アルバイト料の中から五百円をそれぞれ寄託しました。村社会福祉協議会では、「たすけあい資金」としてめぐめられない人たちのために役立てることにしています。

戸籍の窓



お誕生



ご結婚

- 長利 宏樹(太田) 清一
- 成田 兼小治 裕四
- 梶浦耕一郎(十三) 裕行
- 吉田 望美(相内) 弘
- 奈良 雅彦(太田)
- 大江 栄子(相内)
- 榎引 秀明(脇元)
- 新田多恵子(北海道)
- 教賀 重敏(小治)
- 三橋富美子(十三)
- 馬場 弘司(南部)
- 角谷 優子(相内)
- 齋藤 光彦(脇元)
- 谷口 朝子(北海道)
- 館山 恭一(青森)
- 佐藤由美子(脇元)
- 葛西 幸一(小治)
- 外崎 清一(小治)
- 石澤れい子(車力)
- 今 隆(相内)
- 甲地 明美(室蘭)
- 工藤 敏(脇元)
- 秋田 君子(千葉)
- 熊谷 勉(岩手)
- 山田智代子(相内)
- おくやみ
- 葛西 和昭(脇元) 47歳
- 葛西 重藏(脇元) 88歳
- 柏谷 豊作(相内) 79歳

にんぎょさん(赤ちゃん)

山田 仁さん長女(脇元) さくらちゃん(10カ月)
力也兄ちゃん、とっってもイワルするの。さくら、歩行器で逃げるんだ。

